

2. 学部卒業者、大学院博士課程修了者と連携した教育研究活動及び卒業者、修了者を支援する教育研究活動

以下に参画大学の事業成果報告をもとに、年度毎に、実施大学別に教育研究プログラムとその概要をまとめた。事業参画大学間の連携プログラムとして実施したものには【連携】を付した。各プログラムの成果については、実施大学のホームページ等に詳細が記載されている。なお、プログラム名に（*）を付したものについては別添の資料が提出されているが、紙面の関係上本報告書には掲載していない。これらについては、各実施大学のホームページ等で公開することとしているので、ご参照いただきたい。また、参画大学からの事業報告の中で、本事業の主な5つのアドバンスト教育研究プログラムとしても報告があるものについては、プログラム名と簡単な概要を取り上げた。

【2017年（平成29年）度】

<東北大学>

- ・東北大学薬学研究科・薬学部の同窓会である東北大学薬学同窓会に「東北大学薬剤師ネットワーク」を設立し、東北大学卒の薬剤師の交流の一つの場とすることとしている。本ネットワークは、卒業生の薬剤師活動、生涯教育等を支援し、さらに薬剤師を目指す学部生を含めた交流を活発化することを目的としている。
- ・東北大学大学院薬学研究科主催の地域薬剤師研修会を開催して、卒業生の生涯教育を支援するとともに、地域薬剤師の交流の場としている。

<富山大学>

- ・富山県内の病院・薬局に就職をした学生については、事前学習の折に非常勤講師をお願いするようにしている。また、卒業生に社会人として博士課程に入学してもらい、在学生にとっても良好な環境を築くよう努めている。
- ・本学薬学部同窓会である薬窓会にて名簿の管理をしている。

<金沢大学>

- ・学部4年生の講義科目「薬物治療演習」の実施内容を「薬物治療検討会」として卒業生並びに地域薬剤師に公開している。
- ・「薬物治療連携研究会」における活動を通して卒業生の研修や研究サポートを行っている。（*）

<名古屋市立大学>

- ・第2回日本薬学教育学会大会において、東海地区7大学（名市大薬、岐阜薬科大学、静岡県立大学薬、名城大薬・愛知学院大薬 金城学院大薬、鈴鹿医療科学大学）から、病院、薬局、企業などさまざまな領域で活躍している6年制薬学部卒業生を集

め、新しい薬学部6年制教育が実際の職場で役に立っているかどうかを検討するシンポジウムを開催した。各大学の卒業生による発表の後、シンポジウム参加者との質疑応答などを通して、薬学部教育の成果を確認するとともに課題や今後への期待が提言された。【連携】

- ・日本薬学教育学会大会東海地区特別企画シンポジウム「薬学6年制卒業生からの薬学教育への提言」を実施した。

<岐阜薬科大学>

- ・岐阜薬科大学学部の卒業とともに、同窓会に入会することになっており、この組織を通して、交流がある。

<岡山大学>

- ・薬学セミナーにおいて、約半数の学外講師は、本学の6年制卒業生を招いており、6年制薬学卒後には、薬剤師だけでなく企業や行政でどのような働き方があるのかについて講義と質疑応答を行っている。また、これら講義の多くは撮像を行っており、他学年の学生が自由に視聴できるようになっている。これにより研究職と開発職の違いについての学生の理解が増している。

<熊本大学>

- ・次世代創薬研究者育成塾において6年制卒業生の講演会、交流を実施している。
- ・メディポリス国際陽子線治療センター研修では、卒後教育という観点から6年制卒業生が見学・講演会に参加し、最先端の医療に関する研修を実施した。